

## 事業実施状況 指定管理者 自己評価票（ひな形）

施設名	国分寺市障害者センター
指定管理者名	社会福祉法人 万葉の里

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由
収支計画の適確性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	通年での収入はコロナウイルス感染症者の発生による利用自粛等の影響を受け減収であった。一方で、人件費の支出については、職員の休職者が複数発生したことで予算通りの執行とはならなかった。
業務の履行状況の評価	協定等に基づき業務が実施されているか	3	国分寺市の障害福祉サービスが充実するよう、求められている役割を理解し、協定書に基づき遂行した。新型コロナウイルス感染症発生の際は、利用者への自粛のお願いをしながらも、事業休止をすることなく業務を継続した。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	協定通りに実施した。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員を配置し、法令及び協定書に基づき専門職である看護師を厚く配置し運営を行った。職員の休職が4名生じ、代替職員を補充したり、管理職が休職者のカバーをして業務遂行した。
	管理運営に必要な有資格者（防火管理者等）が確保されているか	3	管理運営に必要な有資格者（防火管理者）を配置し、適正に運営した。また、事業継続計画「感染症対策タイムライン」については、状況に応じて内容の見直しや修正を行い、適切に運用した。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	書類は適正に管理し、法人で定めている文書管理規定に基づき保管処分を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	4	委託業者による清掃とともに、職員も定期的に清掃を実施し、清潔の保持に努めた。また、コロナ感染状況に応じて、館内の消毒を欠かすことなく実施した。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	法令上求められている点検を確実に実施した。

サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうか	4	利用者の満足度を図ることも含め「第三者評価」「利用者アンケート」を令和4年度も実施し、全体としては8割を越える方より満足の評価をいただいた。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	感染症拡大防止のため、通所事業においてはオンラインを活用して利用者会議や利用者自治会などを行い、利用者の意見を聞きながら企画立案、実施を行っている。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	「万葉の里で働くあなたへ」を活用し、支援のみならず社会人として求められることを示し、共有を図っている。接遇マナー研修を共通の内容で各部で実施し、職員の意識向上に努めた。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	苦情解決委員会に上がる事案はなかった。日常的な意見や相談にはその都度応じ、できることは速やかに改善を図るなど、適切に対応した。
	個人情報適切に取り扱われているか	3	定期的にチェックシートを活用し、適切に個人情報を取り扱っているかの確認を実施した。
	業務に必要な研修を実施しているか	4	サービス管理責任者や相談支援専門員等の資格に関わる新任・更新研修を計画的に受講した。「支援職員が出来る医行為について」をテーマに講師を招いて介護技術研修を2回行った。また、相談支援、利用者理解、感染症対策等の内容の研修を主にオンラインで受講している。外部研修もオンライン開催が増えているため、多くの職員が受講する機会を得ることとなった。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	配布物（お便り、個別支援計画等）には必要に応じてフリガナを付ける、写真や絵など使い解りやすい説明をする、受付に筆談用ボードを設置する等の対応をしている。
	業務の改善を図ったか （※改善の指摘事項があった場合のみ記載）	3	モニタリング時に指摘された事項については、事業内で共有を図り、次に実施されるまでの間に改善を図り、その都度報告を行った。
施設の特性に応じた水準の評価	虐待防止の取組み	4	虐待が起こり難い職場環境を目指して「心理的安全性」をテーマに連続研修を実施中。管理職向け研修を1回、全職員対象の研修を10・12・2月の3回実施した。
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策	4	基本的な感染症対策を年度末まで継続。5類への移行に向けて対策の一部緩和について衛生委員会にて協議し、新年度から床の消毒については、季節性の感染症流行時同様（金曜日の夕方に実施）に戻すことを決めた。職員の健康管理については、4月から出勤前の報告は廃止とし、支援時のマスク着用と東京都から支給される抗原検査（週2回）について継続する予定。
	人材育成の取組み	3	課長面談を年2回行い、法人の求める人材と、本人自身が考えるキャリアプラン等について話し合い、必要な研修を受講する等、意欲向上につながるよう努めている。 また、従事している職員の内部転換試験を実施し、正規職員への登用に取り組んだ。 その他、健康診断やメンタルヘルスチェックを実施し、不調の兆しがある場合は看護師や産業医とも連携し、職員が健康で安心して働ける環境整備に努めている。休みが続く職員については、産業医と情報共有しながら早期に対応すると共に、復職訓練を実施した。

総合評価		評価の理由等
3	市の要求水準を満たしている	<p>条例、指定管理協定、事業計画、収支予算書に基づき適正に運営を行った。サービスを必要とする市民が安心して利用できるようサービス向上に努め、更なる利用者満足度の向上を目指す。コロナウイルス感染防止対策については、5類移行に伴う緩和への対応を取りながらも、「ハイリスク施設に準じる」施設として求められる対応を基に事業を継続した。また、利用者の個別ニーズにできるだけ対応できるように、相談支援体制の強化や、オンラインを活用したコミュニケーション等の取り組みを継続していく。</p>
		<p>評価者氏名 : 伊佐 素子</p>